



かわしま

mail:y3kawash@edu.city.yokohama.jp

http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kawashima/

学校だより 5月号
平成 21年 5月 1日
横浜市立川島小学校
校長 小池 慎一
TEL 371-0757
FAX 381-7248

かわしましょうスポーツフェスティバル

よこはまかいこう 横濱開港150周年記念 K S F へ向けて!

学校長 小池 慎一



桜の花が満開の中で迎えた入学式・始業式から1ヶ月が過ぎました。子どもたちは、5月の明るい光の中で元気に校庭を走り回っています。5月23日(土)に実施する予定の「横濱開港150周年記念K S F(川島小スポーツフェスティバル)2009」の練習も始まりました。本校では、子どもたちが大きな行事に向けての具体的な活動を通して、学級づくりや人間関係づくりに生かせるよう、本年度から、K S Fを年度の初めに位置づけることにしました。新しい年度の川島小学校を、子どもたちが自分たちの手で創り出してくれることを期待してのことです。

子どもたちにとって、学校は、多くの同年代の人との出会いの場であり、様々な衝突や軋轢がある中で、協力し合うことの意味や、人を思いやることの大切さを学ぶ場であると考えています。今年、横濱開港150年目を迎える節目の年にあたりますが、開港によって、多くの外国と関係をもつようになった日本は、150年間に様々な軋轢や戦争、失敗を経験してきました。その中で、多くの外国と互いに協調し助け合うことで、私たちの心も生活も豊かになってきたと私は思っています。

子どもたちにとっても、学校という場で、学級づくりや人間関係づくりといった活動を通して「キラリ輝く」ことのできる豊かな人間へと成長してほしいと願っています。

さて、先日実施された全国学力・学習状況調査の「児童質問紙」75項目の質問事項のうち、特に人との関わりについての項目への本校6年生児童の回答は、次のような結果でした。

(いずれも「思う」「どちらかといえば思う」を含む数値)

- 「学校で友達に会うのは楽しい」 94.1%
- 「人が困っているときは、進んで助けている」 89.4%
- 「近所の人に会ったときは、あいさつしている」 89.2%
- 「人の気持ちが分かる人間になりたいと思う」 89.7%
- 「人の役にたつ人間になりたいと思う」 92.7%



横濱開港150周年

6年生、キラリ輝いて頼もしいですね。